**指導医新規申請者用 手続き及び書類チェックシート**

氏名

この度の申請につきまして、ありがとうございます。

申請前に確認をお願いします。準備が出来ましたらそれぞれ☐に印を付けてください

申請時はこの用紙も同封してください。

* 1．様式１～様式４の提出がある
* 2．様式１の提出日が今回の申請期間である

（それ以外の場合は再提出なので前回申請の状況を事務局にて確認）

* 3．様式１で専門医登録後、７年以上の学会会員歴がある（規則3条(1)）
* 4．様式１裏面に申請料11,000円の振込控えが貼付されている

（申請フォーム入力後クレジットカード決済・銀行振込にてお支払いの場合、入金完了メールを印刷し貼付）

* 5．様式２で専門医登録後、７年以上の歯周治療歴がある（規則3条(1)）
* 6．様式２で住所が「会員情報管理システム OHASYS」内のデータと同一である
* 7．様式３と様式５（症例報告書）の指導医が同一で、指導医資格者である
* ※違う場合は、正当性を委員会で協議
* 8．歯科医師免許証・専門医認定証の写しがある
* 9．専門医生涯研修記録簿で専門医登録後、専門医・認定医教育講演を5回以上受講し、受講証がある（規則3条(2)）
* 10．2020年度以降、日本歯科専門医機構「共通講演」を2単位/各年度受講し、受講証がある

※未受講の場合、受講予定の記載があれば受付可

※2024年度申請以降は「直近５年間」となる

* 11．専門医生涯研修記録簿で専門医登録後、本学会学術大会または本学会認定医・専門医教育講演または本学会臨床研修会において2回以上筆頭発表者として症例発表し、業績発表証明がある（規則3条(3)）
* 12．歯科大学及び大学歯学部において歯周病学を担当する教授は上記３．５がなくてもよい（規則3条2項）
* 13．様式５、様式８-１、８-２、症例提出用テンプレートにて８症例の報告がなされている
* 14．様式８がカラーで電子データ化されている
* 15. 症例提出用テンプレートがpptxまたはpdfで作成されている
* 16. 本紙（□に印済み）、様式１～５、様式８-１、８-２、症例提出用テンプレート、歯科医師免許証、専門医認定証、専門医生涯研修記録簿が電子化され、学会ホームページ書類提出フォームよりアップロードが完了している。また症例資料（様式5、様式8-1、8-2、専門医症例提出用テンプレート）は症例毎に１つのフォルダにまとまっている
* 17．紙媒体でのプリントアウトが下記方法で同封されている

【様式５、８-１、８-２、専門医症例提出用テンプレート】

上記の順でまとめ、【】内の様式は症例ごとに閉じること。逸脱しないよう、まとめてゼムクリップなどで閉じること。

書類は全てA４サイズで統一すること。

・本紙

・様式１～４

・歯科医師免許証

・専門医認定証

・専門医生涯研修記録簿

上記の順でまとめること。

書類はすべてA4サイズに統一すること。

の順で揃え、左上をホチキスで閉じること。書類は全てA４サイズで統一すること

**枠内の資料をレターパック、簡易書留等、発送記録が追跡できる方法で送付すること。**